

特42

844

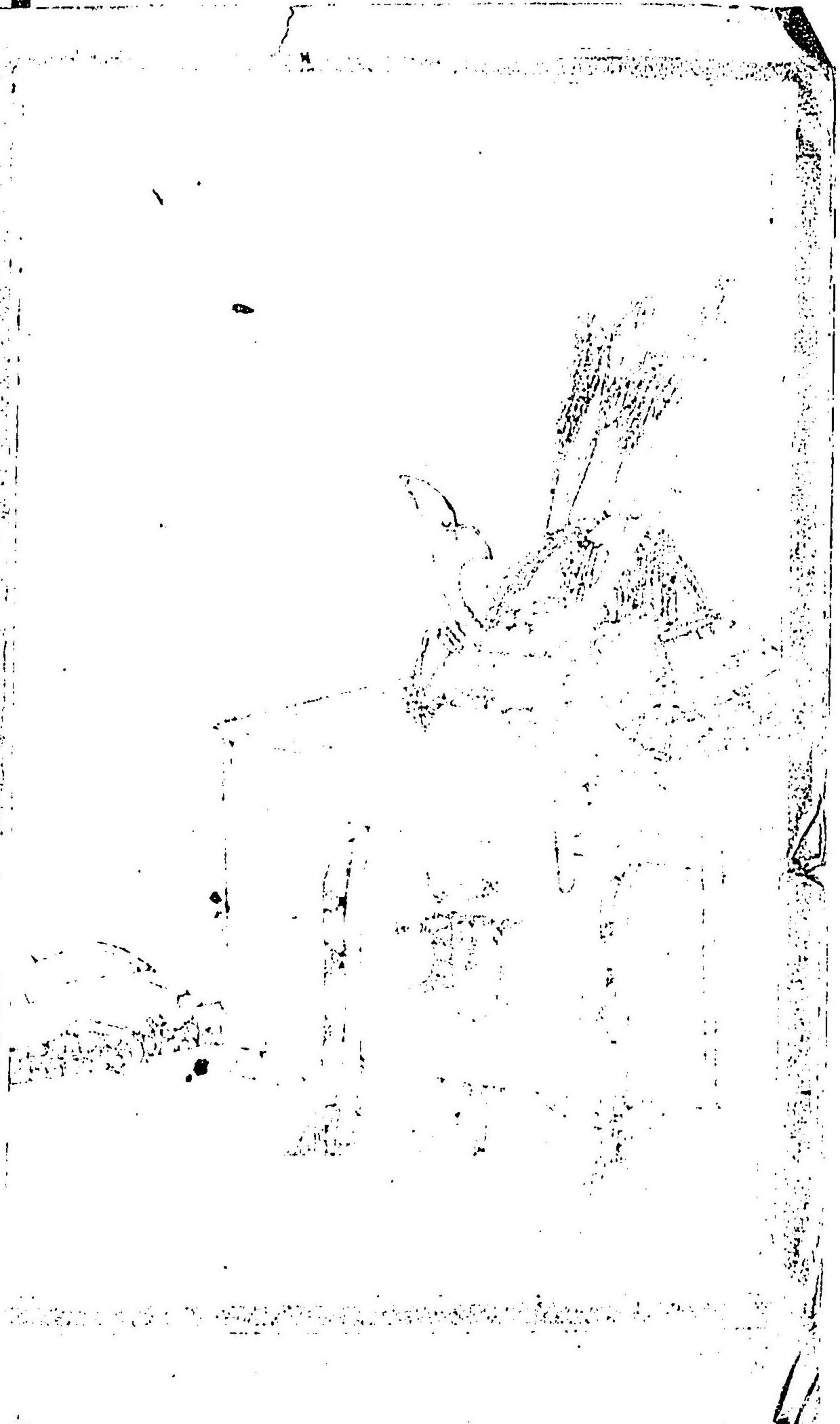
118

本西遊記

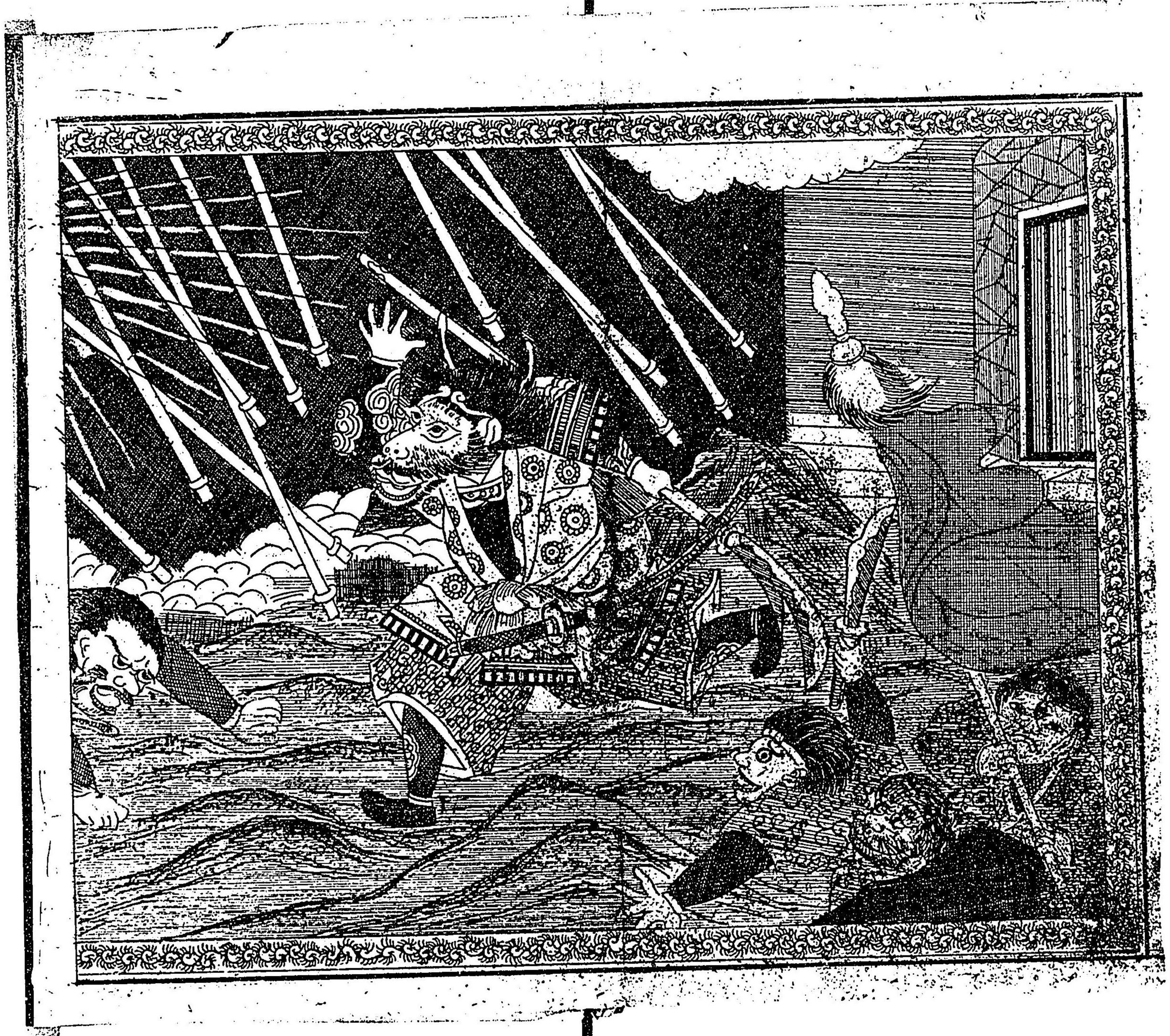


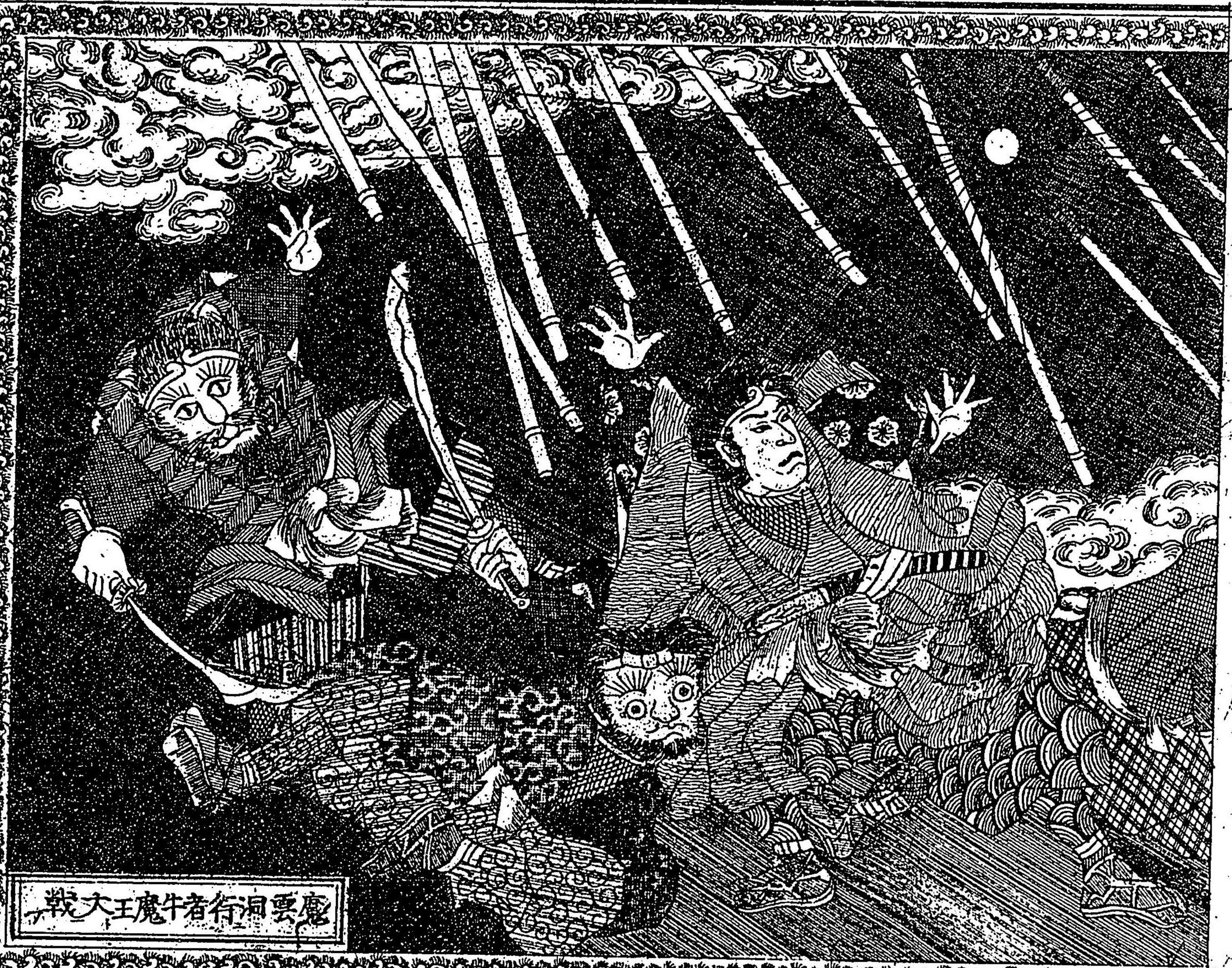
Wc 4574 / 23

本編巻中の出像ハ惣テ唐土の
形成レ倭風の出達ニ直セハ
婦女童蒙に分り女さ為あり







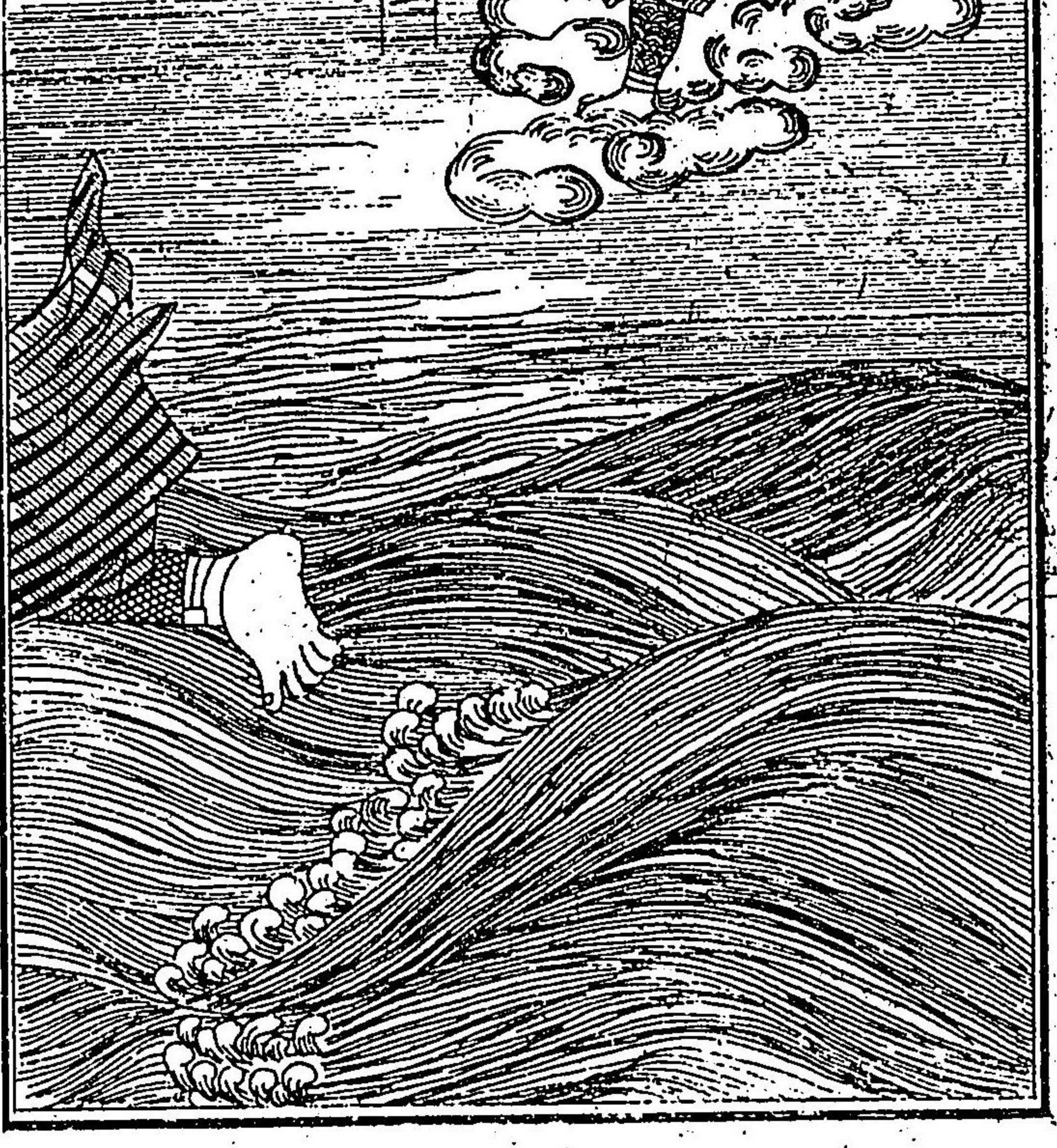


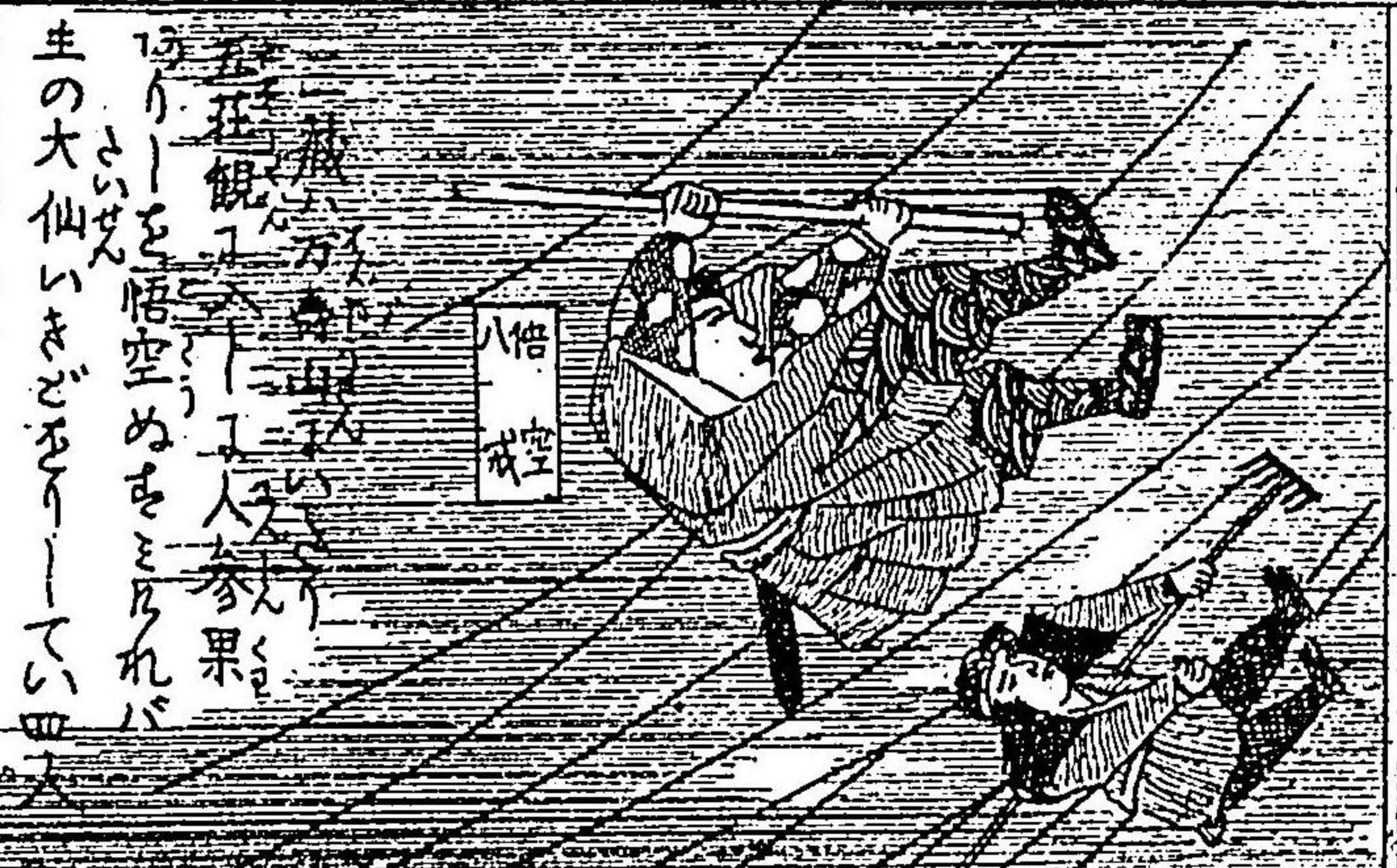
戰大王魔牛者行洞雲魔

法師を西天よりかへて如来を拜し極
 離れん事な命に給ひけれを三蔵の道
 出せし小宛におちいりけれを妖術出来り
 りて魔王の術はつれも三蔵の行者二人を
 くいけるが太白金星一人の老婢より來りて
 三蔵を救ひける此洞の双岫嶺と号けて
 魔王の山の窟なり却てに來りて
 の海中華果山の怪石破裂し石卵
 を産じが化して石猴とあり眼より金
 色の光を發し天のかがやきけれ太上聖王
 帝天上の宮殿にあり千里眼を弄せしめし
 石猴ふれは格闘けるが神仙ふまの
 術をままひ帰孫悟空の姓名を貰ひ龍宮城
 子趣き一万三千五百斤の鉄棒をよび甲冑を
 我名を金棒してくへる茲に於て東海龍王
 地蔵王菩薩より上天王上帝は悟空の罪を
 人罪を奏聞せし急ぎ討手を下さんとす



却説唐土の
 太宗皇帝と唐中に
 幽冥界にいり閻王に
 見へ人間生死のつかさど
 佛教の熱心しめし三蔵





三蔵法師の
 五戒を悟空め
 ぼりて悟空め
 生の大仙い
 ぼりて悟空め
 ぼりて悟空め

三蔵法師の
 五戒を悟空め
 ぼりて悟空め
 生の大仙い
 ぼりて悟空め
 ぼりて悟空め

三蔵法師の
 五戒を悟空め
 ぼりて悟空め
 生の大仙い
 ぼりて悟空め
 ぼりて悟空め



三蔵法師の
 五戒を悟空め
 ぼりて悟空め
 生の大仙い
 ぼりて悟空め
 ぼりて悟空め





山天...
 羅刹...
 羅刹...

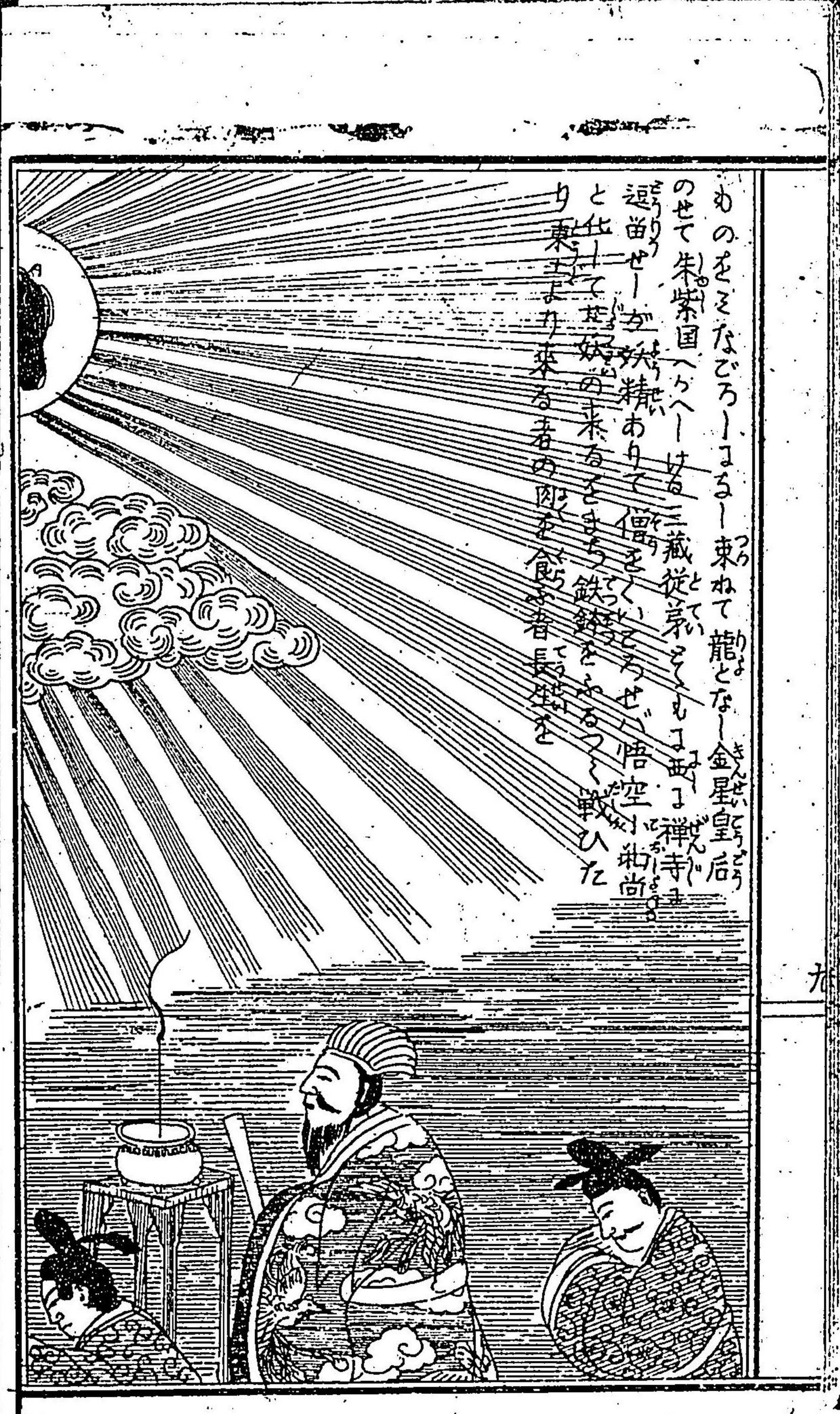
六背上のり彼の三の
 金鈴をたつぬれバ
 悟空はらねて奪ひ
 ちぎるべき菩薩は
 日々に...



出観音菩薩
 王とくうひ如意棒を

悟空

教百の...
 教百の...



のをとなごろしる一東ねて龍となし金星皇后
 のせて朱紫国へへける三蔵徒系ともし西の禪寺
 遊曲せしが精ありて僧さくくせし悟空の和尚
 と仕立てたはあまのまをさす鉄鉢をふるく戦ひた
 り東より来る者の限を食ふ者長生を

てさびさりける悟空いそぎ雲のり追ひかけきくひけり三藏法師徒景四人をまぐのり
人難妖怪變化のさめよ命をさられんとせもたびくのる成ども租諸佛の助けよ
りて雷音寺まいりける如来おまねく諸佛をめし左右は例せしめ唐僧をめしける唐僧は如
来より経を得るよをよびいかなを観音菩薩の守りあひいよあり余きからの危難もあ
く經文をい申し歸朝して経を皇帝に奉りける皇帝御喜悅斜ふらげその功を賞
し宴をさまりり途きつらの危難を奏聞し悟空八戒沙語淨等のをくらき殊に悟空がふ
きの神通にて妖魔を討つることのちく奏しけるよ皇帝をとりまめひ居ならぶ人々も聞
たびくに身の毛もよどつむくりふり叔皇帝ハ其経をさぐりめ三藏は賜ひ又尸塔寺は俱
ひ真経を誦讀しに忽ち香風吹き来り空中にハ入金剛全身をあらはし西天よりへるべ
きを催しければこの時三藏法師徒景ととも空中に上り西天へをもむきけり

明治三年春先帝印
明治四年六月先帝出版御旨

大阪市長橋通三丁目千世屋敷
印刷兼子氏
發行者 井上清

